

令和6年産主食用米等の「生産量の目安」の基本的な考え方

令和5年12月25日
三重県農業再生協議会

1 県全体で引き続き米の需給調整に取り組む必要性

全国の米の需要量は、人口減少や食の多様化を背景とした減少はあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にあることから、需給は引き締まりの傾向となっています。また、本県において、民間在庫量は減少が見られますが、引き続き米価の回復・安定と県産米の振興に向け、米の需要に応じた生産を進めていく必要があります。

2 令和6年産三重県の「生産量の目安」の考え方

三重県農業再生協議会では、生産者が需要に応じた生産に取り組めるよう、三重県の「生産量の目安」を次の方法で算出します。

- (1) 国が公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」に準じ、令和5/6年及び令和6/7年の三重県産主食用米の需給見通しを算出します（別紙）。
- (2) この需給見通しから算出した令和6年産主食用米等生産量を「主食用米生産量の目安」とします。
- (3) 食用米生産に供する種子については、県産米の安定生産を図る上で重要であることを鑑み、「水稻種子生産量」の必要分とします。
- (4) 「主食用米生産量の目安」に、「水稻種子生産量」を加え、三重県の「生産量の目安」とします。

(別紙)

●三重県の主食用米の需給見通し

令和5/6年

(単位：トン)

令和5年6月末民間在庫量	A	17,585
令和5年産主食用米等生産量	B	124,700
令和5/6年主食用米等供給計	$C = A + B$	142,285
令和5/6年主食用米等需要量	D	128,944
令和6年6月末民間在庫量	$E = C - D$	13,341

令和6/7年

(単位：トン)

令和6年6月末民間在庫量	E	13,341
令和6年産主食用米等生産量	F	128,360
令和6/7年主食用米等供給計	$G = E + F$	141,701
令和6/7年主食用米等需要量	H	128,360
令和7年6月末民間在庫量	$I = G - H$	13,341

※令和5年6月末民間在庫量は、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針（農林水産省令和5年10月）」の値とした。

※令和5年産主食用米等生産量は、「農林水産統計 令和5年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量（農林水産省令和5年11月10日公表）」の値とした。

※令和5/6年主食用米等需要量は、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針（農林水産省令和5年10月）」の需要実績の三重県の直近3年間の全体需要量の平均値に、「日本の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所令和5年8月公表）」の人口の対前年比率を乗じて算出した。

※令和6/7年主食用米等需要量は、令和5/6年主食用米等需要量に、「日本の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所令和5年8月公表）」の人口の対前年比率を乗じて算出した。

※令和7年6月末民間在庫量は令和6年6月末民間在庫量と同等の数量に設定した。

●水稻種子生産量

令和6年産県内採種計画数量 玄米 372トン

3 令和6年産三重県の「生産量の目安」

「主食用米生産量の目安」 + 「水稻種子生産量」

128,360トン + 372トン

「生産量の目安」

128,732トン

主食用米生産量 対前年比率

令和6年産128,360トン／令和5年産125,719トン

102.1% (増加率2.1%)

4 令和6年産地域農業再生協議会の「生産量の目安」の考え方

三重県農業再生協議会では、生産者が需要に応じた生産に取り組めるよう、主食用米の「生産量の目安」を地域農業再生協議会別に提供しています。

令和6年産においても、引き続き、「生産量の目安」を提供します。

「生産量の目安」の具体的な算出方法は、以下のとおりです。

- (1) 平成29年の各市町別生産数量目標のシェアを固定し、令和5年産の三重県の「主食用米生産量の目安」に対する、令和6年産の「主食用米生産量の目安」の「対前年比率」を求め、この「対前年比率」を令和5年産の各地域農業再生協議会別「主食用米の生産量の目安」に乗じて、令和6年産の「主食用米の生産量の目安」を算出します。
- (2) 食用米生産に供する種子については、県産米の安定生産を図る上で重要であることを鑑み、必要となる「水稻種子生産量」を算出します。
- (3) 「主食用米の生産量の目安」に、「水稻種子生産量」を加え、各地域農業再生協議会の「生産量の目安」とします。